

第2学年 音楽科 年間指導計画

時期	単元・題材名	配当指導時数	本単元で育成すべき資質・能力 (単元の学習内容)	単元の評価規準	評価方法	教材名
4月 ～ 5月	歌唱	4	①創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	①創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表すことができる。	実技テスト 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢の世界へ</li> <li>・課題曲</li> <li>・サンタルチア</li> <li>・反復記号</li> </ul>
			②リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	②リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもって表現している。	実技テスト	
				③創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方に気付き、それらを生かした歌唱表現に粘り強く取り組んだり、創意工夫して歌おうとしている。	実技テスト	
6月 ～ 7月	器楽	3	①箏の音色や奏法を理解し、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。	①箏の音色や奏法を理解し、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏することができる。	観察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箏曲</li> <li>・島唄</li> </ul>
			②音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	②音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、演奏している。	実技テスト	
				③陽音階に関心をもち主体的・協動的に箏の創作活動に粘り強く取り組もうとしている。	ワークシート 観察	
8月 ～ 10月	鑑賞	3	①曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	①曲想と音楽の構造との関わりについて理解することができる。	定期考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交響曲第5番 ハ短調</li> <li>・フーガ短調</li> <li>・オーケストラの演奏</li> </ul>
			②音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	②音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、まとめることができる。	ワークシート	
				③オーケストラやパイプオルガンに興味を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習に取り組み、その音楽を深く味わおうとしている。	ワークシート	
10月 ～ 11月	歌唱	3	①創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	①創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表すことができる。	実技テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の思い出</li> <li>・課題曲</li> <li>・自由曲</li> <li>・指揮をしてみよう</li> </ul>
			②音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	②音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもって表現している。	実技テスト ワークシート	
				③仲間とともに、表情豊かに合唱し、主体的・協動的に歌唱の学習活動に粘り強く取り組もうとしている。	観察	
10月 ～ 11月	鑑賞	1	①歌舞伎の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解すること。	①歌舞伎の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解することができる。	定期考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌舞伎</li> <li>・勸進帳</li> </ul>
			②音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	②音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴き、考えをまとめることができる。	ワークシート	
				③歌舞伎に親しみ、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組み、その音楽を深く味わおうとしている。	ワークシート	
10月 ～ 11月	器楽	3	①創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、アルトリコーダーで表している。	①創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、アルトリコーダーで表すことができる。	実技テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルトリコーダー</li> <li>・ふるさと</li> <li>・生活や社会の中の音楽</li> </ul>
			②音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	②音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもって演奏している。	定期考査 実技テスト	
				③音楽活動を楽しみながら主体的・協動的にリコーダーの学習活動に粘り強く取り組もうとしている。	授業観察	

12月	器楽	3	①ギターの基本的奏法を身に付け、全体の響きを聴きながら他者と合わせて演奏する。	①ギターの基本的奏法を身に付け、全体の響きを聴きながら他者と合わせて演奏することができる。	定期考査	・ギター ・ハッピーバースデー
			②音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている	②音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもって演奏することができる。	実技テスト ワークシート	
				③曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、ギターの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	観察	
1月 ～ 2月	表現 創作	3	①課題や条件に沿った音符、休符の選択や組み合わせなどの技能を身に付け創作する。	①課題や条件に沿った音符、休符の選択や組み合わせなどの技能を身に付けて創作することができる。	ICT	・ICT
			②リズム、テクスチャ、強弱を知覚し、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	②リズム、テクスチャ、強弱を知覚し、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもち、楽譜に書くことができる。	ICT	
				③音符や休符の組み合わせに関心をもち、音楽活動を楽しみながら創作の活動に、粘り強く取り組もうとしている。	ワークシート 観察	
	鑑賞	2	①曲想と音楽の構造との関わりについて理解すること。	①曲想と音楽の構造との関わりについて理解することができる。	定期考査	・オペラ「アイダ」
			②音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	②音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、まとめることができる。	ワークシート	
				③オペラに親しみ、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、その音楽を深く味わおうとしている。	ワークシート	
2月 ～ 3月	歌唱	4	①創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能や、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	①創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能や、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表すことができる。	実技テスト	・春風の中で ・入学式の歌
			②音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	②音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもって表現しようとしている。	実技テスト ワークシート	
				③仲間とともに、表情豊かに合唱し、主体的・協働的に歌唱の学習活動に粘り強く取り組もうとしている。	観察	

合計 35